

# はやま湖におけるアユの再生産

福島県内水面水産試験場 調査部  
平成16年度事業報告書

## 1 部門名

水産業－内水面(増養殖)－内水面漁業－アユ  
分類コード 19-08-22590000

## 2 担当者

廣瀬 充・佐久間 徹・鈴木 信

## 3 要旨

アユは生活史の中で海と川を行き来する通し回遊魚の一種である。平成16年6月、浜通り北部に位置するはやま湖におけるアユの再生産について真野川漁協より情報提供があった。これが事実であれば全国でも最北での事例になる。このため、これらのアユと同水域で放流されたアユとの形質(側線上方横列鱗数、下顎側線孔数)の比較により湖内で再生産したものであるかどうかについて調査した。

- (1) 平成16年7月6日にははやま湖上流の真野川及び木戸木川において投網により採捕した合計69尾のアユ(以下河川採捕アユ)と、太平洋系人工アユ(真野川での放流アユと同系統、以下人工アユ)30尾について側線上方横列鱗数と下顎側線孔数を計数した。
- (2) 側線上方横列鱗数は、河川採捕アユは $17.7 \pm 1.3$ 枚(平均±標準偏差)、人工アユでは $13.8 \pm 0.8$ 枚であり有意差が認められた(Mann-WhitneyのU検定、 $Z = -7.87$ 、 $P < 0.001$ )。
- (3) 下顎側線孔数は河川採捕アユでは $7.9 \pm 0.6$ 個、人工アユでは $4.4 \pm 1.3$ 個であり、有意差が認められた(Mann-WhitneyのU検定、 $Z = -8.67$ 、 $P < 0.001$ )。
- (4) 今年度、アユの放流が行われていない木戸木川においてアユが採捕されたこと及び形質に差がみられたことから、河川採捕アユの主体ははやま湖において再生産したものである可能性が非常に高い。
- (5) 今後はこれらのアユの由来を明確にするとともに、同湖において再生産が継続するかについて調査を続ける必要がある。

## 4 その他の資料等

なし